

付1 ルドルフ・フォン・ラバン (Rudolf von Laban) 年譜



第30図

1879. 12月15日, 元オーストリア領ハンガリー (現在チェコスロバキア), ブラチスラバ (Bratislava) に生れる。

ルドルフ・ラバンは幼少の頃, 父 (軍人) の仕事の関係で, ヨーロッパ各地を転々とした。

彼はまず初めに, パリ国立美術学校 (L'Ecole des Beaux Arts in Paris) で音楽, 生理学, 解剖学, 身体運動などを学んだということ以外, 1947年までのラバンについては不明確なことが多い。

ラバンは「2回の大戦のため, 私の公式記録はすべて燃え, 爆発し, 吹きとんで空中に消えてしまった」と云っているが, 彼はスイスではじめての舞踊学校を設立し, 芸術の分野で名をあげている。

1919. 第1次大戦後, スイスからドイツ (ドレスデンとハンブルク) にもどり, 舞踊学校を設立。

1920. はじめての著書『舞踊家たちの世界』(Die Welt des Tänzers) を出版。

1926. 『コレオグラフィ』(Choreography) を出版。

この頃, ラバンはボーデらと共に, ドイツ体操連盟を結成。

1927. ドイツ舞踊家会議初代会長となる。

1930. ベルリン・オペラ劇場とバイロイトの振付師 (Choreographer) として活躍。それと同時に, 工場労働者の動き (Movements) の調査研究にとり組み, さらに, 舞踊の正確な記録法の一つの方式を創りあげることに挑戦し始める。その研究の結果, 「エフォートグラフ」(Effortgraph) が生まれ, 「キネトグラフィ」(Kinetography) または「ラバノテーション」(Labanotation) に発展した。

1935. この名称をもつ舞踊記譜法が初めて実用的に使用される。この方式は, 映像器機が普及されるまでは, 世界中で運動や無踊の記録法として用いらた。

1938. 3月 ナチスに追われてイギリス (マンチェスター) に移り, ここで運動教育指導法, ダンス・セラピー, 教育におけるダンスの領域の開発に貢献した。また, 動きと心理学の関連の調査研究を始める。

1947. 『エフォート』(Effort) 出版。

1948. 『現代教育舞踊』(Modern Educational Dance) 出版。

1949. リサ・ウルマン (Lisa Ullman) を助けて設立したマンチェスターのスタジオ (The Art of Movement Studio in Manchester) が英文部省認可の学校となる。

1953. マンチェスターから, この学校が拡充強化されアドレストンへ移転。

1954. ラバン・アート・オブ・ムーブメント・センターとなる。

1956. 『舞踊運動記譜法の原理』(Principle of Dance Movement Notation) 出版。

1958. 7月1日, ルドルフ・ラバン (78歳) の生涯を閉じる。

「ラバンは大変人をひきつける魅力のある人であった。そして彼は全生涯の全エネルギーをダンスと運動 (Movement) 教育のために、すべての教え子たちに惜しみなく与えた」とラバン・センターのスタッフ (ラバンの教え子たち) は、思い出を語ってくれた。

彼の生涯はまさに「すべての人のためのダンス」(Dance for All) への献身であった。

1976. ラバン・センターは、ロンドンの東南ニュー・クロス (New Cross) に移転。名称も組織も大きく変わり、ロンドン大学、ゴールドスミス・カレッジの舞踊と運動のセンター (Laban Centre for Movement and Dance at University of London Goldsmiths' College) として、現在は世界中から学生が集まり、卒業生たちが世界中で活躍している。

付2：参考文献

- 1) Laban Centre Text: Dance—A Linguistic Approach—, 1980
- 2) Valerie Preston-Dunlop: A Handbook for Dance in Education, 1980, Macdonald & Evans LTD., London.
- 3) Warren Lamb and Elizabeth Watson: Body Code, 1979, Routledge & Kegan Paul, London.
- 4) Marion North: Movement Education—Child Development Through Body Motion—, 1973, E. P. Dutton & Co., INC. New York.
- 5) Marjorie A. Souder and Phyllis J. Hill: Basic Movement, 1963, The Ronald Press Co., New York.
- 6) W. McD Cameron and Peggy Peleasant: Education in Movement—School Gymnastics—, 1967, Basil Blackwell & Mott, Lid., Oxford.
- 7) Peggy Hackney, Sarah Manno, Muriel Topaz: Study Guide for Elementary Labanotation, 1977, Dance Notation Bureau Press, New York.
- 8) Jan Murray: Dance Now—A closer look at the art of movement, 1979, Penguin Books, England.
- 9) Jean Morrison Brown: The Vision of Modern Dance, 1980, Dance Books Ltd., London.
- 10) Marjorie Latchaw and Glen Egstrom: Human Movement—with concepts applied to children's movement activities—, 1969, Prentice-Hall, INC., New Jersey.
- 11) Claudette Collins: Practical Modern Educational Dance, 1969, Macdonald & Evans Ltd., London.
- 12) Isadora Duncan: My Life, 1972.
Irma Duncan: Isadora Duncan's Russian Days, 1929.
- 13) Monique Bertrand et Mathilde Dumont [Pinoke et Matho]: Expression Corporelle—mouvement et pensée—, 1972, Librairie Philosophique J. Vrin, Paris.
- 14) Walburga von Raffler-Engel: Aspects of Nonverbal Communication, 1980.
(本名・井出・谷林訳: ノンバーバル・コミュニケーション, 1981, 大修館, 東京。)
- 15) Daryl Siedentop: Physical Education Introductory Analysis, 1976, C. Brown Company.
(前川・高橋訳: 楽しい体育の創造—プレイ教育としての体育—, 1981, 大修館, 東京。)
- 16) Deobold B. Van Dalen and Bruce L. Bennet: A World History of Physical Education—Cultural, Philosophical, Comparative—, 1971, Prentice-Hall, Inc., New Jersey.
(加藤訳: 新版体育の世界史, 1976, ベースボール・マガジン社, 東京。)
- 17) Desmond Morris: Manwatching—A Field Guide to Human Behaviour—, 1977, Elsevier International Projects Ltd., Oxford.
(藤田訳: マンウォッチング—人間の行動学—, 1980, 小学館, 東京。)
- 18) Desmond Morris: The Soccer Tribe, 1981, Jonathan Cape Ltd., London.
(岡野監修/白井訳: サッカー人間学—マンウォッチングII—1983, 小学館, 東京。)
- 19) Kurt Meinel: Bewegungslehre, 1960, Volk und Wissen Volkseigener Verlag, Berlin.